

やいがいを持って「看護」ができていますか？

第54回全国女性集会 in 滋賀



全国から149人が参加

第54回全国女性集会は、9月26・27日滋賀県おごと温泉「琵琶湖グランドホテル」にて開催し、全国から149人が参加しました。

女性集会の進行は、例年地方協の女性部長が分担して行っています。今年は、森越・東北地方協女性部長と小嶋・九州地方協女性部長が司会を行い、林・東海北陸地方協女性部長の開会あいさつで女性集会が始まりました。

佐藤委員長はあいさつの冒頭で現在、内戦が激化している南スーダンに、日赤の看護師が派遣されていることを紹介し、「平和だから安全・安心な看護が提供できるということを忘れず、一人ひとりが行動をしなければいけない」と強調しました。

また、「静岡富士病院と北海道八雲病院の廃止計画の問題では、計画の不当性、矛盾をあぶり出し、現場の組合員と丁寧に対話し対応をしたい。また、この廃止計画は対岸の火事ではない。すべての病院が、どう存続拡充していくのかの正念場だ」

「今、スト批准投票期間中だが、15年度

の賃金交渉は、機構本部も経営状況から賃上げは厳しいと言っていたところだが90%超のスト権確立が大きな力になり賃上げを実現できた。批准投票成功に全力を挙げよう」

「労働委員会を活用しながらの団体交渉の追及で職場の要求のほとんどが交渉可能となった。秋闘で職場の要求を集め団体交渉を実施して組合員の要求を前進させ、6年連続増勢に向けて組織拡大をすすめよう」と情勢と秋闘のとりくみについて挨拶しました。

その後、中丸女性部長の基調報告に続いて、討論をしました。

生体リズムに合った働き方を

東北地方協の代表から「『正循環』夜勤への挑戦！」と題したプロジェクトチームの取り組みとして、「正循環は生体リズムにあった新しい働き方」と位置づけ、今後も取り組んでいきたいと報告がありました。



続いて、6つの分散会会場に分かれて、「やりがいを持って看護・介護ができていますか？」をメインテーマに、サブテーマを「あなたの看護・介護は何色ですか？」とし職場実態を出し合い、意見交換をしました。

今、看護師としてできること

2日目は、多くの参加者が期待していた川嶋みどり先生の「今を生きる私たちができること」と題した記念講演がありました。講演の概略は以下の通りです。



看護婦は全寮制で通勤も結婚も子どもを産むこともさえも許されなかった時代があった。1960年代になり、看護婦も一人の人間として通勤や結婚の自由、子育てしながら働くための保育所作りなど、歯を食いしばりながら自由と女性の権利をかちとるために頑張ったから、今の働く環境がある。

今、「看護」の存続が懸念される環境となっている。清拭車使用でタオルによる院内感染が問題になると、“不織布”を使ったスティックタオルが普及しはじめ、今やほとんどの病院で使用している。日本人はお風呂好き。入浴できなくとも熟練した看護師の「清拭」は入浴したのと同じような清潔・癒しや解放感を得ることができる。しかし、現場では3本のスティックタオルを手渡される実態。これでは癒しどころか全身の清拭さえできない。

高速回転の看護現場で、看護師のアイデンティティーが失われつつある。このまま、合理化されるがままでいいのか？「押し返す力」が必要。

改めて、看護師として初心に戻って、「一度きりの生命だからこそ、生きていて本当によかった」という思いを実現する看護、ありふれた日常の営み「食べる・排せつ・眠る・清潔・歩く・行動するなど」病気に

なっても支障なく継続できる援助がしたいものです。

川嶋先生は、看護師の手を使った「Te・Art（て・あーて）」について、東北大震災で海水の中から助け出された低体温で瀕死のお年寄りを看護学生の必死のマッサージで命を救った事例を紹介し、効率化の追求ではなく、癒し支援する看護師の手を使った自然治癒力を引き出せる「看護」を見直してほしいと講演を締めくくられました。

講演の感動を伝えよう

川嶋先生は、一日目の交流会から参加していただき、講演後も著書のサイン会、記念写真と快く応じていただきました。看護生活65年、戦争体験、戦後の厳しい環境下での看護、看護師の権利闘争、そして高度化する現在の医療・看護体制の中で、今を生きる私たちに対して「これだけは譲れないもの」を歯を食いしばって守ってほしいと強く語りかけられました。参加された皆さんには、川嶋先生の思いが届いたと思います。ぜひ、職場の皆さんにも講演の内容を伝達していきましょう。



写真撮影に笑顔で答えてくださる川嶋先生

女性部が先頭に立って！

集会の最後は、河戸・北海道地方協女性部長による“団結がんばろう”です。河戸さんは、看護師2年目の整形外科勤務の時「医者がいくら頑張っても、看護師さんが頑張ってくれないと病気は治らないんだよ」との医師の言葉を紹介し、団結がんばろうで集会を締めくくりました。

（分散会の内容は331号で報告します。）